

血液透析中のソシオエステティックの効果 客観的  
視点による評価

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2020-12-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福森, 利智子, 松岡, 由美子, 坂本, 弘子, 清岡, 学, 光江, 弘恵, 古川, 尚史, 大坪, 由里子, 大坪, 茂, 久米, 健市 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.50818/00000003">https://doi.org/10.50818/00000003</a>

## 【研究報告】

## 血液透析中のソシオエステティックの効果 ～客観的視点による評価～

Socio-esthetic effects during hemodialysis therapy:  
an objective evaluation

福森 利智子<sup>1</sup> 松岡 由美子<sup>1</sup> 坂本 弘子<sup>2</sup> 清岡 学<sup>3</sup> 光江 弘恵<sup>4</sup>  
古川 尚史<sup>4</sup> 大坪 由里子<sup>5</sup> 大坪 茂<sup>6</sup> 久米 健市<sup>4</sup>

Richiko FUKUMORI Yumiko MATUOKA Hiroko SAKAMOTO Manabu HIYOOKA Hiroe MISTUE  
Naoshi FURUKAWA Yuriko OTSUBO Shigeru OTSUBO Kenichi KUME

### 要 旨

血液透析患者は透析中、拘束感や不安や緊張を伴うことがある。ソシオエステティックとは、人道的・福祉的観点から精神的・肉体的・社会的な困難を抱えている人に対し、医療や福祉の知識に基づいて行う総合的なエステティックである。今回、透析中にソシオエステを施術し、リラックスして透析が受けられるかを検討した。対象は外来維持透析患者6例。透析中、ソシオエステを30分間施行。施術前後の血圧と脈拍数、唾液アミラーゼ活性値を測定した。血圧は施術前後で有意差を認めなかった。脈拍は施術前  $74 \pm 14$  beat/min より施術後  $70 \pm 13$  beat/min と有意に低下した ( $p=0.02$ )。施術前後の唾液アミラーゼ値は有意な変化を示さなかった。しかし、施術前 60 KU/L であった2例は施術後 10 KU/L 以下に低下しており、施術後は1例を除いて全例 30 KU/L 以下であった。血液透析中に安全かつ効果的にソシオエステティックの施術ができた。

キーワード：血液透析，ソシオエステティック，唾液アミラーゼ，リラックス

### I はじめに

我が国の慢性透析療法を受けている患者総数は2017年末334,505人で、前年に比べ4,896人増加している<sup>1)</sup>。血液透析患者は通常週3回、ベッド上で約4時間の治療が必要である。血液透析中、バスキュラーアクセス肢はあまり動かしてはいけない、曲げてはいけないといった拘束感や、血管痛、痺れ感を伴うことがあり、不安や緊張とともに、心身の苦痛を伴っている<sup>2)</sup>。透析患者は、仕事や学校、家庭生活など社会適応に対する精神的な重圧とともに塩分や水分、カリウ

ム、リン制限といったセルフケアをしなければならない負担もある。

一方近年、医療福祉、介護の現場でのソシオエステティックが癒しの効果、生活の質の向上につながる事が報告されている<sup>3-10)</sup>。ソシオエステティックとは、人道的・福祉的観点から精神的・肉体的・社会的な困難を抱えている人に対し、医療や福祉の知識に基づいて行う総合的なエステティックである。エステティックの施術によって人を癒し、励まし、生活の質の向上に寄与し、その人が本来の自分を取り戻すために支援することを目的としている。ソシオエステティックでは肌の状態、体の状態、心の状態に合わせたエステティックを行う。例えば高齢で皮膚が脆弱な症例に対しては、傷つけないように優しく弱めに施術する。とすると苦痛である透析療法であるが、透析中にソシオエステを施術されることにより、リラックスして透析を受けることができる可能性がある。

<sup>1</sup> 三軒茶屋病院看護部

<sup>2</sup> 八戸学院大学健康医療学部看護学科

<sup>3</sup> 高知リハビリテーション専門職大学理学療法学科

<sup>4</sup> 日本エステティック協会

<sup>5</sup> 三軒茶屋病院内科

<sup>6</sup> 東都三軒茶屋クリニック血液浄化療法科

E-mail: sotsubo@hb.tp1.jp

今回、血液透析患者を対象に透析中にソシオエステティックを施術することにより、安全に、リラックスして透析が受けられるかどうかを検討した。

## II 方法

東都三軒茶屋クリニックにて外来維持透析を施行している患者のうち、同意を得られた6例を対象とした。エステ用のガウンに着替え、室温25℃、湿度50～60%に調節した個室にて、チェアタイプの透析用ベットにて透析を開始。唾液アミラーゼ活性を測定し、非バスキュラーアクセス側の上腕に血圧測定用マンシエットを巻き、血圧測定と脈拍測定を行った。唾液アミラーゼ活性はニプロ乾式臨床化学分析装置唾液アミラーゼモニターを用いて測定した。循環動態の安定性を医師により確認後、ソシオエステーションによりマッサージを30分間施術した。マッサージの手順は、①クレンジングクリームによる洗顔 ②顔にホットタオルを当てる ③顔からデコルテにかけてマッサージを施行 ④ホットタオルでマッサージクリームを落とす、とした。ソシオエステーションによるマッサージ後、血圧測定と脈拍数、唾液アミラーゼ活性値を測定し、リラックス度を評価した。

研究協力者には、研究目的・方法・匿名性の保持・秘密保持・拒否と中断の権利及びそれらによる治療への不利益のない事、データの厳重管理と利用後の完全破棄について文書と口頭で説明し、同意書を以て承諾を得た。研究説明時に研究協力者に各種化粧品への塗布によるアレルギー反応の既往がないことを確認し、マッサージ中に皮膚への違和感があったら直ちに知らせることを説明した。本研究は、三軒茶屋病院の倫理委員会による承認を得て行われた (approve number 20150901)。

データは平均±SDで示し、施術前後の比較はTwo group t-testを使用した。心拍数、唾液アミラーゼ活性値をリラックス度の指標として評価した。解析はJMP 5.1を使用し、P値0.05未満を有意とした。

## III 結果

患者背景は男性患者3例、女性患者3例で患者の平均年齢は62.7±13.1歳、透析歴の平均は9.0±11.5年だった。原疾患は、慢性糸球体腎炎2例、糖尿病性腎症2例、ループス腎炎1例、両側性腎癌術後1例であった。施術の様子を図1に示す。マッサージの施術後、患者のほとんどが「気持ちよかった」と明るい表情で話していた。施術前後の臨床検査値の変化を表1に示した。血圧は施術前が153±23/82±19 mmHg、施術後は151±27/79±23 mmHgで収縮期、拡張期ともに有意差を認めなかった。脈拍は施術前74±14 beat/minより施術後70±13 beat/minと有意に低下し (p=0.02)、全例において低下していた (図2)。施術前の唾液アミラーゼ値は31±32 KU/L、後の唾液アミラーゼ値は25±26 KU/Lと有意な変化は示さなかった。施術前60 KU/Lであった2例は施術後10 KU/L以下に低下しており、施術後は1例を除いて30 KU/L以下であった。1例において施術前2 KU/Lより施術後71 KU/Lと著増していた (図3)。施術中気分不快を認める症例はなく、安全に施行できた。

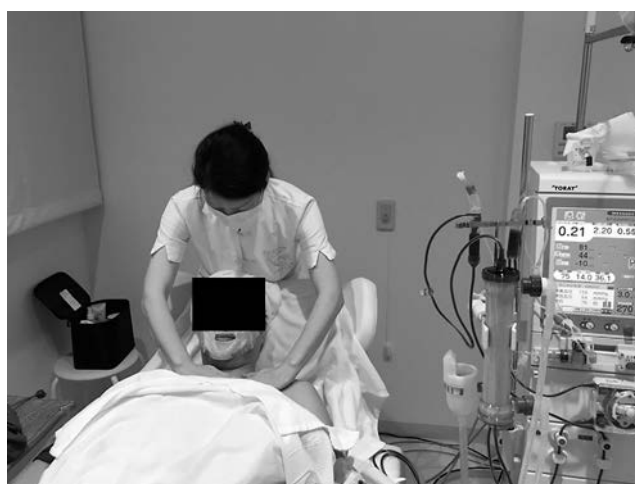


図1 施術の様子

表1 施術前後の臨床検査値の変化

	前	後	P value
収縮期血圧 (mmHg)	153 ± 23	151 ± 27	NS
拡張期血圧 (mmHg)	82 ± 19	79 ± 23	NS
脈拍 (beat/min)	74 ± 14	70 ± 13	0.02
唾液アミラーゼ値 (KU/L)	31 ± 32	25 ± 26	NS

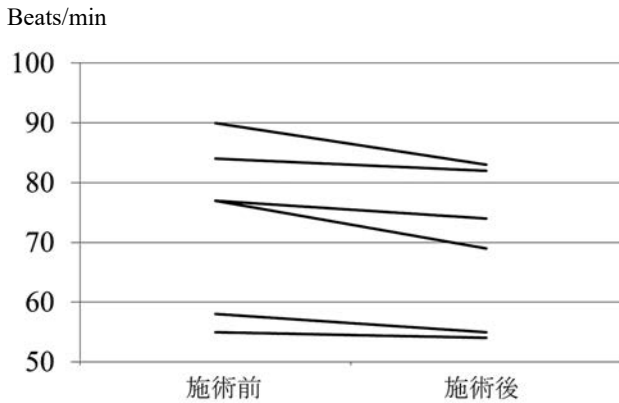


図2 脈拍の変化

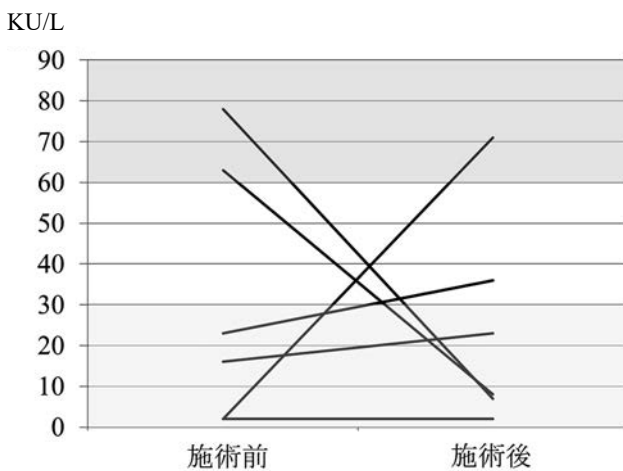


図3 唾液アミラーゼ値の変化

#### IV 考察

血液透析中に血圧の変動をきたすことなく、安全にフェイシャルマッサージ等の顔、頸部の施術を行うことができた。唾液アミラーゼ値は施術後、概ね30 KU/L以下に収まったが、一例において上昇が認められた。81歳と高齢の男性であり、長い人生でエステは生まれて初めての体験であり、何をされるのかと緊張していたとのことであった。全体で唾液アミラーゼ値は低下傾向を示したが、有意差を示すには至らなかった。成人の安静時の脈拍数は、通常65回/分から80回/分の間であるが、リラックスしているときの脈拍数は、安静時よりも遅くなる。今回脈拍は全例において低下しており、施術前 $74 \pm 14$  beat/minより施術後 $70 \pm 13$  beat/minと有意に低下していた。ソシオエステの施術はリラックスの一定の効果があるといえる。

ソシオエステは「エステティックの施術により人を癒やし、励まし、生活の質の向上に寄与し、その人が本来の自分を取り戻すために支援する」ことを目的としている。CODES-JAPON認定ソシオエステティシャン養成講座を修了した者をソシオエステティシャンと呼ぶ。ソシオエステティシャンにより、医療の現場では、乳がんの術後の患者や、入院患者に対する癒しの効果が報告されている<sup>3-5)</sup>。また、介護、福祉の分野でも通所リハビリテーションやデイケア利用者に対し、不安の軽減や活力の増加、疲労感の低下、抑うつ改善などの感情状態の改善が報告されている<sup>6,7)</sup>。

透析患者は浮腫、皮膚の乾燥、激しい痒み、皮膚の色素沈着といったエステ分野の得意とする問題を有する。また、透析療法の時間的制限、食事・水分摂取の制限、身体症状や合併症による苦痛、社会的役割の変化、経済的な問題もあり、長期にわたり心理・社会的負担がかかっている。日本の透析患者の12%は大うつ病で一般対象者より多いことが報告されている<sup>8)</sup>。医師はおろか、看護師も日常の臨床診療に追われ、なかなか患者の抱える悩みを共有することが難しい。ソシオエステでは本来得意とするエステを通じ、皮膚の改善のみならず、肌ふれ、じっくりと話を聞き、気持ちを理解するよう努めることで精神的なケアをも行う。今回の研究では初対面で30分1回のみでの施術であり、十分な情報共有を持つことはできなかったが、施術を通して脈拍の低下といった一定の癒しの効果が確認できた。回数を重ねるとさらなる効果があるものと思われる。

ストレス度の指標として、血中におけるコルチゾールやカテコールアミンなどのストレスホルモンを評価する場合、血液を採取しなければならず、この方法では採血自体がストレスャーとなってしまう確かなストレス評価にはならないという問題がある。唾液アミラーゼ活性値は、交感神経-副腎髄質系のストレス評価のためのストレスマーカーであり、唾液を採取するのみで身体的・心理的苦痛を伴うことなく測定でき、血液の採取よりも的確に人間のストレス評価ができると報告されている<sup>11)</sup>。そのため、本研究では、アミラーゼ濃度を測定し評価した。今回使用したニプロ乾式臨床化学分析装置唾液アミラーゼモニターは、2007年に特定保守管理医療機器として認可されたもので、測定時にどの程度ストレスを受けているかをリアルタイムに知ることが出来る。唾液アミラーゼ活性値の測定結果によるストレス度については以下の4レベル、①

0～30KU/Lストレスはなし ② 31～45 KU/L ストレスはややある ③ 46～60 KU/L ストレスはある ④ 61～200 KU/L ストレスはだいぶある、に分類される。施術前60 KU/L以上であった2例は共に施術後10 KU/L以下に低下していた。

本研究にはいくつかの限界がある。一つは症例数が少なく、もっと多くの症例での検討が必要である。透析療法は除水に伴う循環動態、血圧の変動があり、唾液アミラーゼ値にも影響を及ぼす可能性がある。また、頸部のマッサージが唾液腺マッサージとなり、唾液の分泌に影響し、唾液アミラーゼ値が変化する可能性もある。さらに、初対面での初めての施術であり、症例によっては緊張による影響が強くなったと思われる。回数を重ねることにより、透析患者とソシオエステティックに信頼関係が生まれ、さらに癒しの効果が高まるのではないと思われる。

## V 結論

血液透析患者に対し、透析中に安全かつ効果的にソシオエステティックの施術ができた。

## 文献

- 1) 新田孝作, 政金生人, 花房規男ら: わが国の慢性透析療法の現況 2017年12月31日現在. 日本透析医学会雑誌. 21 (12): 699-766, 2018
- 2) 神野かおり: 血液透析患者の透析中の苦痛の実態と上肢マッサージの効果. 日本腎不全看護学会誌. 16 (2): 59-65, 2014
- 3) 瀬戸真由美, 古田昭彦, 佐藤馨: ソシオエステティックをすべての乳がん患者さんに がん診療連携拠点病院における活動を踏まえての提言. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集26回: 361, 2018
- 4) 瀬戸真由美, 古田昭彦, 佐藤馨: ソシオエステティックをすべての赤十字病院に!. 日赤医学70 (1), 212, 2018
- 5) 志賀千恵子, 大村秀子, 大坪茂ら: 入院透析患者におけるソシオエステティックの試み. 日本透析医学会雑誌. 51 (Supple 1): 852, 2018
- 6) 藤間勝子, 野澤桂子, 長田由紀子: ソシオエステティックが通所リハビリテーション施設利用の高齢者にもたらす心理的効果. 日本心理学会大会発表論文集75回: 425, 2011
- 7) 藤間勝子, 野澤桂子, 長田由紀子: ソシオエステ

- ティックがデイケア利用の高齢男性にもたらす心理的効果. 老年社会科学34 (2): 242, 2012
- 8) Tomita T, Yasui-Furukori N, Sugawara N, et al. Prevalence of major depressive disorder among hemodialysis patients compared with healthy people in Japan using the Structured Clinical Interview for DSM-IV. Neuropsychiatr Dis Treat 30 (12): 2503-2508, 2016
  - 9) 光江弘恵: QOL向上をサポートするソシオエステティックの役割. 日本抗加齢医学会総会プログラム・抄録集10回: 142, 2010
  - 10) 野澤 桂子: 治療の場における美容 ソシオエステティックの心理的効用. こころの科学117: 63-67, 2004
  - 11) 萩野谷浩美, 佐伯香: ストレス評価における唾液  $\alpha$  アミラーゼ活性の有用性. 日本看護技術学会誌10 (3), 19-28, 2012

受付日: 2019年5月2日 受諾日: 2020年2月16日

【Practice Report】

## Socio-esthetic effects during hemodialysis therapy: an objective evaluation

Richiko FUKUMORI<sup>1</sup> Yumiko MATUOKA<sup>1</sup> Hiroko SAKAMOTO<sup>2</sup> Manabu HIYOOKA<sup>3</sup> Hiroe MISTUE<sup>4</sup>  
Naoshi FURUKAWA<sup>4</sup> Yuriko OTSUBO<sup>5</sup> Shigeru OTSUBO<sup>6</sup> Kenichi KUME<sup>4</sup>

### Abstract

Usually, hemodialysis patients suffer from restrictions, anxiety and tension during hemodialysis therapy. Socio-esthetics is a general esthetic discipline that is practiced based on a knowledge of medicine and social welfare for the benefit of people with mental, physical or social difficulties arising from illness, accidents or aging. We performed socio-esthetic therapy during hemodialysis therapy and examined the effects on patient relaxation. Thirty minutes of socio-esthetic care were provided for 6 outpatients during hemodialysis therapy. We measured the blood pressure, pulse rate, and salivary amylase levels before and after the socio-esthetic therapy. Blood pressure did not vary significantly before and after the therapy. However, the pulse rate decreased significantly from  $74 \pm 14$  beats/min to  $70 \pm 13$  beats/min ( $P=0.02$ ). The salivary amylase level did not differ significantly before and after the therapy. However, in 2 patients whose salivary amylase levels were more than 60 KU/L, the values decreased to less than 10 KU/L. In all the patients except one, the values decreased to less than 30 KU/L. We concluded that socio-esthetic therapy could be performed safely and effectively during hemodialysis therapy.

Key words : hemodialysis, socio-esthetic, salivary amylase, relaxation

<sup>1</sup> Faculty of Nursing, Sangenjaya Hospital, Tokyo, Japan

<sup>2</sup> Faculty of Health Care, Department of Nursing, Hachinohe Gakuin University, Aomori, Japan

<sup>3</sup> Department of Physical Therapy, Kochi Professional University of Rehabilitation, Kochi, Japan

<sup>4</sup> Association of Japanese Estheticians and Beauty Therapists, Tokyo, Japan

<sup>5</sup> Department of Medicine, Sangenjaya Hospital, Tokyo, Japan

<sup>6</sup> Department of Blood Purification, Tohto Sangenjaya Clinic, Tokyo, Japan

E-mail: sotsubo@hb.tpl.jp

